

令和5年度第1回北秋田市総合教育会議 会議録

1. 開催期日 令和5年5月25日（木）
2. 開催場所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム 大研修室
3. 開会及び閉会 開会：午後1時30分 閉会：午後2時45分
4. 出席者 北秋田市長 津谷 永光
＜北秋田市教育委員会＞
教育長 佐藤 昭洋
委員 佐藤 正俊
委員 佐藤 英樹
委員 蒔苗 隆
委員 藤本 基子
5. 欠席委員 なし
6. 出席職員 ＜教育委員会事務局＞
教育次長 小坂 竜也 総務課総務係長（書記） 鈴木 政行
総務課長 佐藤 義隆 北部学校給食センター所長 笹代 孝徳
学校教育課長 湊 貞宗 義務教育係長 藤田 学
生涯学習課長 小塚 重光 生涯学習係長 中島 礼美
スポーツ振興課長 野呂 雅弘 文化係長 渡辺 靖光
スポーツ係長 松岡 繁広
7. 案件 (1) 令和5年度主な教育施策について
(2) 意見交換

8. 会議録

小坂教育次長	<p>ただいまから、令和5年度第1回北秋田市総合教育会議を開会いたします。 初めに、津谷市長より挨拶をお願いいたします。</p>
津谷市長	<p>本日は、御多用中にもかかわらず、令和5年度第1回北秋田市教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、常日頃より本市の教育行政の発展のみならず、市政全般に対しても大変温かい御理解、御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げる次第です。</p> <p>さて、まだ私共マスクはいたしておりますが、新型コロナの国内初確認から3年余りが過ぎました。5月8日からは感染症法上の位置付けが5類へと引き下げられ、文科省においてはマスクの着用や黙食については、これまでのように厳しく求めることはしないという方針を示しておりますが、まだまだ予断は許されないところもございます。子供達がマスクを外して元気に遊んでいる姿を見て、ほっとしているところもあります。我々大人としても児童、老人含め、そういう方々が安心して学校に、また、様々な活動に元気に臨めるような地域づくりのために頑張っていかなければいけないと、そういう思いを強くいたしてるところであります。そして、これからの教育行政であります、単にコロナ前に戻るのはではなくて、コロナ禍の中である意味、いい意味での進展を見せましたデジタル技術を活用して、新しい学びに進化させていくことが一層重要だと考えているところでもあります。</p> <p>今年度の教育委員会に係る主な事業といたしまして、委員の皆様方からの大変温かい御意見、ご提言をいただきながら進めて参ります。北秋田市小中学校適正規模・配置再編プランに基づきまして開校いたしました義務教育学校阿仁学園の統合校舎改修工事がありまして、2月末の完成を予定いたしております。</p> <p>また、森吉地区の学校統合につきましても、米内沢小学校に前田小学校を統合することを令和6年4月に控えていることから、今後、保護者の方々や地域関係者の皆さんと共に統合に向けて進めてまいりたいと考えています。</p> <p>世界文化遺産「伊勢堂岱遺跡」のXR化事業につきましては、先月、伊勢堂岱縄文館において、デジタル技術による鑑賞システムの公開を行いました。冬期間の遺跡見学ができない等の問題を抱えておりましたが、遺跡や出土品をデジタル化することによりまして、ホームページや縄文館内のタッチパネルモニターから閲覧することが可能となりました。引き続き、貴重な遺跡をしっかりと保存し、地域に賑いを創出できるようPRと活用にも努めてまいりたいと考えております。</p> <p>本日の会議では、今年度の主要な教育施策が議題の中心となっておりますけれども、委員の皆様方からは貴重な御意見を賜りますようお願い申し上げまして、開会にあたりましての私からの御挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はよろしくお願いたします。</p>

小坂教育次長	<p>ありがとうございました。 続きまして、佐藤教育長より挨拶をお願いいたします。</p>
佐藤教育長	<p>皆さんこんにちは。</p> <p>今月13日と14日の2日間で鷹巣中学校を除く市内10校の運動会・体育祭が終了しました。14日は若干、雨模様になりまして雨にあたった学校もありましたけれども、子供達が躍動する姿は、寒さも吹き飛ばす勢いがあったと感じています。</p> <p>特に今年度開校した義務教育学校阿仁学園は、新聞にも大きく取り上げられたように、比立内の前期課程校舎に全校生が集結し、保育園児や地域の方々も交えての阿仁地区大運動会となりまして大いに盛り上がりました。素晴らしいスタートを切れたというふうに、うれしい限りでございました。</p> <p>先日、フォーラム21という東京都の官民交流研修の団体10名が、本市のふるさと教育や学校教育について視察研修に訪れました。総務省、こども家庭庁、文部科学省の大臣官房広報室長や課長、企画官などの官僚、それに東京電力、ホンダ、みずほフィナンシャルグループ、セコム、富士フイルム、大日本印刷、NTTなどの民間大企業の中堅の方々メンバーでございました。21日、日曜日に国際教養大学の視察後、打当温泉マタギの湯に移動しまして、そこで「ふるさと教育」の考え方や取り組みについて、私から紹介し、湊学校教育課長も加わり懇親を深めました。22日、月曜日には阿仁学園前期課程の授業参観、後期課程の授業参観後、校長からの経営説明と質疑を経て、8、9年生と参加者が3グループにそれぞれ分かれて、約35分間、意見交換会を行いました。今日、資料を持ってきてお配りしておりますので、この中から2人の感想を紹介いたします。最初に、本田技研工業株式会社 コーポレート戦略部長 高橋純洋さんの感想を御紹介します。「大変感銘を受けました。ICTを活用した授業はもちろんのこと、1年生から9年生まで全ての生徒さんが生き生きとされており、少人数ではありますが活気を感じました。個々の能力を伸ばそうとする取り組みは大きな強みであり、同質化されていない個を尊重する人格形成がされるであろうと思います。少子化の問題や阿仁、北秋田に産業、企業が少なく就職することが大変であることをお伺いし、地方の活性化が日本の活性化につながると思いました。ふるさとの良さを残しつつ、都市部とのつながり体験を通じて、更なる発展ができるのではと思いました。」ネット社会が武器になるかもという、コメントも入れておりました。もう一方、東京電力ホールディングス 原子力改革特別TF事務局長代理 芦澤宗治さんの感想を御紹介します。「初めて複式学級を拝見させていただきました。子供達は元気よく挨拶をしてくれました。気持ち良く、嬉しい気持ちになれました。少人数ならではのメリット、きめ細かなフォローにより一人一人に対する愛情が深く注がれていると感じました。児童生徒達が自分の考えを発表し、仲間の意見を膨らませていく姿に感銘を受けました。意見交換では、故郷、地域の課題として職場がないことを挙げていました。しかし、新しい経済の流れであれば、秋田、地域からでも起業していくことはできると思います。是非、生徒達に『将来の故郷は、自分達で作る、作れる』という、誇りや自信をつけてあげて欲しいと感じました。」皆さん、それぞれ素晴らしい御感想をいただいております。後で御覧になってください。</p>

佐藤教育長	<p>阿仁学園の取り組みや子供達の様子を見てもらって、私達の確かな歩みを確認できたと感じた一日でした。</p> <p>本日の総合教育会議では、教育委員会の今年度の主な教育施策について、事務局から提案がありますが、委員の皆様から忌憚のない御意見をいただけますようお願いし、私の挨拶とさせていただきます。</p>
小坂教育次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは案件に入らせていただきます。北秋田市総合教育会議運営要綱によりまして、議長は市長が行うことになっておりますので、津谷市長に案件の進行をお願いいたします。よろしく申し上げます。</p>
津谷市長	<p>それでは、暫時、議長を務めさせていただきますので、皆様の御協力よろしくお願いたします。</p> <p>初めに、案件（１）令和５年度主な教育施策について、各担当課長から説明をお願いいたします。</p> <p>始めに、学校教育関係につきまして、総務課長、学校教育課長からお願いします。</p>
佐藤総務課長	<p>それでは令和５年度総務課に関わる主な教育施策について説明をいたします。</p> <p>１．小中学校施設、設備の整備事業について、主な工事を説明いたします。鷹巣小学校のプール改修工事につきましては、破損している箇所モルタル補修をし、防水塗装を実施するもので、６月１６日を工期として既に発注済みでございます。鷹巣東小学校の高圧設備交換工事につきましては、キュービクルの交換工事となります。鷹巣中学校の手洗シンク新設工事につきましては、校舎内の手洗場５箇所を増設するものです。森吉中学校の防火防煙シャッター改修工事につきましては、昨年まで２年間実施してきました改修工事でございます。今年度で３年目になりますが、校舎全ての防火防煙シャッター工事は今年度で終了し、全て完了することになります。</p> <p>２．義務教育学校阿仁学園の統合改修工事について、説明いたします。統合改修工事につきましては、５月２３日に入札を行いまして、本体建築工事は秋田・佐藤庫特定建設工事共同企業体、電気設備工事は片岡・ヤマグチ特定建設工事共同企業体、機械設備工事は日通・和田特定建設工事共同企業体が落札をしております。建設工事につきましては、議会の議決に付すべき契約であることから、今後の教育委員会にて契約内容等についてご報告させていただきたいと思っております。その他、プール改修工事、ネットワーク導入に関わる委託費、統合改修工事に関わる設計管理等の委託費、グラウンドの外構設計に関わる委託費、備品購入費を合わせて６億４,０３７万６千円の事業費で進めていく予定でございます。財源といたしましては、文科省の国庫支出金１億８,９２７万７千円を見込んでおり、基金繰入金は森林経営管理基金から繰入れ、市債は合併特例事業債を予定しているところです。この他に６月補正で追加の関連予算を予定しておりますが、まだ金額等が確定しておりませんので、来月の教育委員会にて御報告させていただきたいと思っております。</p>

佐藤総務課長	<p>3. あきたリフレッシュ学園と教育留学推進事業について、説明いたします。先の定例教育委員会でも御説明させていただきましたが、あきたリフレッシュ学園は、今年度15名の学園生でスタートしております。また、不登校又はその傾向にある児童、生徒の生活改善を主な目的とした教育留学推進事業については、2学期、9月からの受入れを検討しているところです。それと併せ、昨年度まで新型コロナウイルス感染症の拡大により中止しておりました学習交流型につきましても、受入れ環境を整えながら県と協議を進め、来年度に向けて検討してまいりたいと考えております。</p> <p>4. 安心・安全な学校給食の提供について、説明いたします。昨年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により、児童、生徒の欠食が頻繁でありましたが、市長の挨拶にもございましたが、5類感染症に移行したことで、今年度は通常の給食提供ができるものと考えております。学校給食につきましては、これまで同様、安心・安全な学校給食を充実、そして提供することが第一義であります。また、給食センターにおける衛生管理の徹底、地場産品を積極的に取り入れることにより、地域全体の食への関心を高め、学校給食を生きた教材として活用するためにも、地産地消の推進を図ってまいりたいと考えているところです。</p>
湊学校教育課長	<p>続きまして、学校教育課に関わる主な教育施策について説明をいたします。</p> <p>1. 第2次北秋田市学校教育ビジョンは、5年計画の中間年、3年目になります。このビジョンの具現化に向け、各種事業研究会、研修会において、理念や重点目標に沿った取り組みや実践がなされるよう校長会と連携し、学校経営方針を活かしながら全教職員にビジョンの内容を周知していきます。教育センター事業を活用し、教職員の研修の充実をバックアップしていきます。ここに来て、市内に若い先生達が非常に増えてきておりますので、若い先生も育てていきたいと考えております。総合学習補助事業や郷土資料集「きらり☆きたあきた」の活用及び学校運営協議会を機能させた教育活動の推進により、地域人材、地域素材を活用した学びの場づくり、絆づくりに努め、ふるさと教育、キャリア教育の一層の深化を図っていきます。郷土資料集「きらり☆きたあきた」については、今年度、第三版の編集の年になっております。</p> <p>2. GIGAスクール構想についてです。タブレットの使用も3年目を迎え、各校での使用率が上がってきました。端末を活用した双方向の授業や相互評価としての活用方法など、効果的な活用が広がってきていると感じています。今後は、市教育センター、ICT活用推進部と連携し、各校の課題や活用の具体例を情報共有しながら、ICTの効果的な活用による学習を推進してまいります。また、家庭への端末を持ち帰っての活用の仕方についても進めてまいります。</p> <p>3. 小・中学校の再編についてです。義務教育学校阿仁学園の令和6年度の実質統合に向け、関係機関、部署等と連携しながら、子供達や地域が統合して良かったと思えるような学校にしていきたいと考えています。また、森吉地区の米内沢小学校と前田小学校の統合も決まりました。閉校する前田小学校では、閉校記念実行委員会も立ち上がり、記念誌や記念行事についての話し合いも始まっています。今後、統合に向け様々な問題が出てくるのが予想されますので、それに対応していきたいと考えています。併せて、</p>

湊学校教育課長	<p>森吉中学校の今後の在り方についても、関係部署、保護者及び地域住民等との意見交換を進めていきます。</p> <p>4. 部活動の地域移行に向けてについてです。北秋田市学校部活動及び新たな地域クラブ活動検討委員会を開催し、地域移行に向けた現状と課題を洗い出し、今後のスケジュールを検討していきます。可能な部活動から順次移行していきたいと考えています。第1回目の検討委員会は、6月6日を予定しています。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>総務課、学校教育課から説明がありました。委員の皆様から御意見、御質問等があればお聞きしたいと思います。何かございませんでしょうか</p>
藤本委員	<p>学校給食についてですが、中学1年の息子は、学校給食が学校に行く楽しみの大きな一つとなっており、小学校から中学校に上がって量が増えたことも大変喜んでいます。また、メニュー表を冷蔵庫に貼り、メニューについて家族での話題の一つにもなっています。現在、様々な物が値上がりしています。食材の値上がり分を市で負担していただき、保護者の負担額は変わらないことは、こういった中で大変ありがたいことだと思っています。栄養士の先生は色々工夫し、美味しいメニューを考えてください本当にありがたいと思っております。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>大変お褒めの言葉と励ましの言葉をいただきました。なお一層、努力するようにしてください。</p>
佐藤総務課長	<p>今年、私も学校給食の担当会議に初めて出席させていただきました。学校の栄養士の先生方は、地場産の物を使用することはもちろんこと、伊勢堂岱遺跡に関連するメニューを作りたい等、いろんな工夫をしながら毎日の給食メニューを考えているとつくづく思ったところでございます。これからも学校の栄養士、調理員等いろんな方々と協議しながら、安全で安心できる給食を提供していきたいと思えます。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にございませんか。</p>
佐藤正俊委員	<p>教育留学推進事業についてですが、コロナ禍の中で2名の子が本市のリフレッシュ学園を利用したのですが、保護者の方より大変感謝され、ありがとうございましたと内容の手紙もありました。また、利用した子の父親から、今回お世話になったのは女の子であり、宿直員が1名であることが心配だとの電話がありました。私も娘の親であれば、心配なのは確かだと思います。予算も関わってくるのですが、今後、複数の宿直員を配置することの考えはあるものか。以前には、複数の子供が利用した場合には、2名の宿直員が配置されており、1名の場合は1名の宿直員が配置されていました。できれば</p>

佐藤正俊委員	保護者からの心配事がそのような内容であったので、御検討願えればと思います。
佐藤総務課長	委員から御指摘がありました宿直に関わる人の確保については、なかなか難しいことを聞いております。このことについては、委員が話されたとおり予算の関係もありますし、年度途中であることから難しいと思われませんが、頂いた御意見を参考に再度、教育委員会で検討させていただきたいと思います。
佐藤正俊委員	安心・安全ということを考えれば、部屋に鍵を付けることも考えられます。学園側としては、何かあった時に鍵が掛かっていれば開けられないが、親側としては、内側から鍵を掛けれるような工夫が必要だと思えます。安全面から色々考えてほしいと思いました。
佐藤総務課長	分かりました。
津谷市長	他にございませんか。
藤本委員	4年ぶりに子供が森吉中学校に入学したのですが、毎週水曜日は部活動が完全休養日であるため、スクールバスが午後4時台1本と決められています。4年前は、毎日4時台、5時台、6時台のスクールバスが3本運行していました。今年度或いはそれ以前からかもしれませんが、4時台のバスのみであるため生徒が一斉に帰る、とても良い取組みをされていると思いました。子供が約2時間早く帰ってくるにより、部活動や月、火曜日に遅れた家庭学習を頑張る、体を休めることができます。私自身も、子供と会話する時間が他の日より多く持てると感じています。また、先生方においても生徒が一斉に午後4時台に下校することは、先生方の時間の充実にもつながり、大変良い取組みをされていると思います。それは森吉中のみなのか、それとも北秋田市全体で取組まれているのか教えていただきたいと思います。
湊学校教育課長	多分、子供達の部活が無い日は、学校によって違っていると思います。委員からお話しがあったように、子供達が家庭で保護者と一緒に過ごす時間、そのようなものは非常に大切な時間になっていると思います。私も非常に良い取組みだと思えます。学校側からしてみれば、現在、働き方改革ということが言われています。昨年度、北秋田市内の教員の時間外勤務が39時間となっており、そのような取組みをすれば、もっと削減できているところだと思います。
藤本委員	スクールバスの運転手さんも、いいだろうなと思いました。
津谷市長	他にございませんか。
佐藤英樹委員	学校教育課長から部活動の地域移行について説明がありました。第1回目の地域クラ

佐藤英樹委員	<p>ブ活動検討委員会が6月6日に行われるとのお話がありました。3年間の猶予はあるわけですが、本市としては早めに取り組んで進めていただきたいとの希望を持っています。そこで今考えている委員の構成、スケジュール、それから先日、県スポーツ協会記念式典でシンポジウムがあり、文科省スポーツ庁地域スポーツ課長の橋田先生より、予算取りがある場合は、早めに各市町村で計画を立て、国の予算が使えるような手立てが必要ではないかとお話がありました。是非頑張って進めていただきたいと思います。</p>
湊学校教育課長	<p>スケジュールについては先ほども話しましたが、現在の北秋田市の状況、課題は何か、できることは何かなど、この後の検討委員会を出し合うことにしています。それを受け、早ければ今年度中に移行できるクラブから行っていくことにしております。また、予算取りについては、私は非常に大きな課題と思っています。今後、検討委員会を行います。指導者が市役所職員、消防職員等となった場合、この検討委員会だけでうまく治めることができるのか、更に大きな組織で話合う必要がでてくるのかと考えております。委員の構成は、体育協会の方や中学校の校長、教員などです。</p>
佐藤英樹委員	<p>今、学校教育課で行っていますが、ある時、スポーツ振興課に移ると以前の会議で教育長が話してましたが、そのタイミングはいつですか。予定は立っているのでしょうか。</p>
湊学校教育課長	<p>多分、検討委員会の進み具合によると思います。</p>
佐藤英樹委員	<p>野呂スポーツ振興課長も心の準備が必要だと思います。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございます。 他にございませんか。</p>
藤本委員	<p>同じく部活動の地域移行についてですが、説明会にて移行しないこともできると聞いたのですが、学校内でこの部活は移行する、この部活は移行しないと選択できることの意味なのかははっきり分かりませんでした。例えば、息子の部活動が日曜日、水曜日は必ず休みますとなれば、必ずしも移行しなくてもいいのではと捉えてしまいました。</p>
湊学校教育課長	<p>そのような場合、指導者は学校の先生になることになります。クラブ活動を学校から切り離すことが一つの趣旨でもあります。今、私が説明しているのは土、日曜日の活動のことであって、今後、長い目で見れば社会体育に移行していくのではと思っています。</p>
津谷市長	<p>よろしいでしょうか。 まず、検討委員会にてもんでもらう必要があると思います。 他にございませんか。</p>
蒔苗委員	<p>I C Tを活用した学習活動によりタブレットが普及し、使用率が上がっているようで</p>

蒔苗委員	すが、操作が分からない、機器の不調などの事例はありますか。
湊学校教育課長	操作が分からない、機器がうまく作動しないなどあります。そのために、鷹巣小学校と鷹巣中学校に支援員各1名を、市内の小・中学校どこにでも移動し、対応する支援員1名を配置しています。
蒔苗委員	不具合があった場合、支援員が対応するまでは代替の機器で対応するのですか。
湊学校教育課長	予備の機器は各学校に数台あります。まずそれを使用するか、或いはその時間だけ隣の人と一緒に使用することで対応しています。
津谷市長	蒔苗委員、ハードの部分についてはありませんか。
蒔苗委員	機器がすごく頻繁に変わるため、今使用している機器がすぐに古くなってしまい、出来ることが、次の機器では出来なくなってしまうような不具合があるのでは。私もタブレットを使ってみても使い切れていないところがあり、使い道を限定しているような状況です。子供達は発想が柔軟ですので色々なことに使えると思いますが、それが機器が古くなったことにより出来なくなってしまうようなことが無いようにしていただければと思います。
湊学校教育課長	機器については、順次、学校ごとに計画的に更新しています。
津谷市長	ありがとうございました。 まだまだ学校教育関係について質問があると思いますが、時間の関係で先を急ぎます。この後、意見交換の時間を取っていますので、足りなかった部分については、その際に御質問等いただければと思います。 次に、生涯学習関係につきまして、生涯学習課長からお願いいたします。
小塚生涯学習課長	1. 生涯学習事業の推進についてです。公民館講座については、市民の生きがいや学習の機会を提供することが大切であることから、コムコムを含む各公民館が市民のニーズを取り組みながら、地域に学びの成果を還元できるものとして提供しています。今年度は37の講座を開設し、5月の「広報きたあきた」に掲載、募集し、各講座がスタートしております。高齢者大学については、高齢者の学びと生きがいにつながっているもので、正に生涯学習の本質であると思っています。合川、森吉、阿仁地区は、地区全体での活動となっていますが、鷹巣地区においては10のクラブに分かれ、自ら学び、体験する活動が主なものであります。また、合同研修やその成果を発表する場も設定しております。今年は4つの大学で、5月11日現在ですが318人の大学生が入学しております。生涯学習事業の生涯学習フェスタについては、各種公民館講座で学習した成果を発表することで地域に還元し、今後の活動につながることを目的に継続しています。昨

<p>小塚生涯学習課長</p>	<p>年は6団体のステージ発表のほか、展示、体験、販売を行いました。冬の笑楽校については、小学生を対象に学校では学ぶことが出来ない体験をしてもらう、また、地域企業等の協力を得て開催しております。今年のプログラムはまだ決まっていますが、昨年は市内と上小阿仁村の小学生30人が、理科の学習としてマイナス196℃の世界の体験、市内の老人クラブ連合会の皆さんが先生となり、スカットボール等のニュースポーツ体験、給食タイムでは、秋田北鷹高校の家庭科クラブの協力をいただきました。今年の生涯学習フェスタは12月10日、冬の笑楽校は1月10日を予定しております。</p> <p>2. 次代を担う子どもの未来につながる事業についてです。学校・家庭・地域連携事業については、市内の小・中学校全てに設置して、地域学校推進協議委員など19名が学校と地域をつなぎ、お互いの考えを出し合うことで、学校も地域も元気になっていくことを期待しています。放課後子ども教室については、放課後に地域の大人の協力を得て、様々な体験交流することで地域コミュニティーの充実が図られるものです。児童クラブ単位で行われ、20人の指導員の協力を得て活動しておりますが、指導員の確保が困難な地域もございます。家庭教育支援チームについては、地域のイベントに出向き、子育て相談会を実施しているほか、今年度は6月の毎週日曜日、北欧の杜公園にて親子遊びサロンを行う予定です。チーム委員は8名となっております。マタギの地恵体験学習については、国立市との交流事業を兼ねて国立市から15名、本市から15名の計30名の小学校4年生から6年生を対象に、自然体験を通じて命をいただく大切を知っていただきます。今年は7月28日から30日までの2泊3日とし、植樹、鶏の解体から始まるきりたんぼ作り、カヌー体験、イワナを釣って捌いて焼いて食べる等のプログラムを予定しています。</p> <p>3. 北秋田市民ふれあいプラザについてです。来館者、利用者の利便性の向上については、コロナ前の年間来館者数は約28万人程度で推移していましたが、新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は21万6千人、令和3年度は22万4千人、令和4年度は22万5千人の来館者となっております。特定の団体の利用に偏ることがないように、事前予約は3カ月前、月4回までとするなど、ルール化しております。昨年12月より、バス待合室のカウンター内に秋北バスのチケット売場が設置されております。子育て世代支援「ねまーる広場」については、5人の保育士がローテーションを組み合わせながら、2人体制で行っています。自由来館で利用でき、子供と親のスキンシップを図りながら子育ての悩み等を聞いたりしています。コムコムの研修等で預かりが必要な方の一時預かりもしています。チャレンジブースの利活用については、2カ所あり、起業前の助走期間として2年間を上限に貸出しているスペースです。現在、2カ所とも空きとなっております。周知を図っておりますが、現在のところ申請がない状況です。引き続き周知を図り、募集してまいります。</p> <p>4. 「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録の推進についてです。一昨年の7月にユネスコ世界文化遺産の登録になり、来場者は引き続き高い数値で推移しております。コロナも落ち着いてきたこともあり、県外からの団体ツアーの申請も多くなっており、また、昨年に引き続き修学旅行の申込みもあります。遺跡の保存と活用を図ってまいります。本年度より国の補助金を利用し、園路の整備や環状列石の継続的な保</p>
-----------------	--

小塚生涯学習課長	<p>存を図るための追加整備を実施いたします。本年度は整備検討委員会の設置、第2期整備基本計画の策定、園路舗装設計、園路柵設置工事を実施する予定です。伊勢堂岱遺跡の周知や魅力アップを図るため、地域おこし協力隊1名が本年の3月から着任しております。遺跡のガイドのほか、SNSでのPRや体験プログラムなどをコーディネートしていただきたいと思いますと考えております。伊勢堂岱遺跡の魅力を広く伝えるため、市の商工観光課や関係部署と定期的な情報交換を図るほか、鹿角、北秋田、山本地域の各市、地域振興局とも連携を図ります。</p> <p>5. 伊勢堂岱遺産ボランティアガイド事業についてです。ゴールデンウィークのジュニアボランティアガイドは、4月29、30日、5月3日から5日までの日程で実施しました。5日間で29回、212名を案内しております。今年度も新たに募集し、夏休みにガイド研修し、そしてガイドを実施する予定となっております。今年も遺跡ワーキンググループ及びジュニアボランティアガイドの支援、育成を図ってまいります。なお、昨年まで北秋田地域振興局が実施していた英語でのガイド事業については、今年から本市主催で実施する予定となっております。</p> <p>6. 文化活動施設についてです。文化会館については、定期的な企画、展示を実施してまいります。予定の自主事業は7月22日に自衛隊音楽隊演奏会、8月27日にはファルコン民謡祭、9月30日、10月1日にはファルコンシネマ、10月21日には劇団わらび座公演等のほか、地元ゆかりの芸術家の作品展を展示ホールにて実施する予定です。なお、建築から30年以上経過している施設でもあり、安全に利用できるよう日常的な点検を、一層気を配ってまいります。浜辺の歌音楽館については、引続き地元の小学生等の学びの場として活用を進めてまいります。また、市民の利用については、例えば楽器演奏等の披露や練習の場として、二階のホールを気軽に利用していただくことはできないかなど検討してまいります。交流センターについては、今年度、照明機器の改修を予定しており、早期に完成させたいと思っております。</p> <p>7. 市内の文化財等についてです。市の指定する文化財は平成30年度から令和2年度までに、個人所有を含め確認作業を全て終了しております。市が管理すべき文化財の適正な管理、保存を進めるほか、市以外が管理すべき文化財の確認を実施してまいります。特に個人所有の文化財について、確認作業のサイクルを短くする必要があると考えています。昨年度、市指定に長崎七左衛門肖像画1件を追加しております。この他にも文化財の指定候補があり、価値づけの調査を進めてまいります。旧合川東小学校、阿仁前田収蔵庫などに分散保管していた文化財を、旧鷹巣南小学校の1カ所に集約しましたが、きちんと整理ができていない状況です。収蔵品の整理、保存作業及び目録作成作業を実施いたします。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの生涯学習課関係の説明につきまして、御意見、御質問をいただきたいと思います。</p>
佐藤正俊委員	<p>ジュニアボランティアガイドについてお尋ねします。新聞等で大きく報道され、大変</p>

佐藤正俊委員	素晴らしい事業だと感じています。心配なのは子供達がガイドをするわけで、何かあった時にフォローする方はついているのでしょうか。
小塚生涯学習課長	昨年の夏に勉強した小学4年生が一番下で、今は5年生です。決して5年生一人でガイドすることはなく、必ずベテランである高校2年生等とペアを組ませてガイドしてもらっています。以前に熊が出没したとの話もあることから、ジュニアボランティアガイドが外で活動する際は、地元自治会である小ケ田の方が必ず一緒について歩くといった体制を作っています。
佐藤正俊委員	ありがとうございます。
津谷市長	他にございませんか。
藤本委員	浜辺の歌音楽館についてですが、前田小学校の統合が現実的になってきて、今後、成田為三先生が作曲した校歌が歌い継がれていく機会が少なくなっていくと思います。これを機会に、浜辺の歌音楽館が博物館的な役割を果たし、これまで統合された小・中学校の校歌の音源、校歌額を集め、来館者に聞いてもらえるようにすれば文化財的なものになるのではないかと思います。御覧になりたい方も結構いると思いますし、呼びかけをすると色々な資料がでてくると思います。
小塚生涯学習課長	私も浜辺の歌音楽館については、博物館的な機能があったほうが良いと思います。例えば、緑ヶ丘小学校の校歌を手拭いに印刷し、緑ヶ丘の会館に貼っています。時間はかかるかもしれませんが、市内にあった小・中学校のみならず高校の校歌等を集めてみたいと考えています。広報等に掲載し、提供をお願いすれば、提供する市民の方はたくさんいるのではないかと思います。御意見を参考にし、進めてまいりたいと思います。
津谷市長	ありがとうございました。 他にございませんか。
蒔苗委員	個人所有の文化財について、個人が申出なければならぬのでしょうか。
小塚生涯学習課長	指定されているもの全て市で把握しています。また、個人所有であっても数年に1回、所在しているか確認しています。平成28、29年に指定になっていないもの、指定に準ずるぐらい貴重なものについてリスト化し、冊子化したものがあります。ただ、その所在については確認できていません。当時はあったかもしれませんが、それが今、誰の手に渡っているかまで把握できていないということです。地元精通した文化財保護審議会委員もおられますので、その方からの情報提供について期待しているところです。
佐藤正俊委員	私の家にも指定された文化財があります。指定された後、確認作業はなかったように

佐藤正俊委員	<p>思います。貴重で大切なものですので、課長が話されたように取り組んでほしいと思います。結構、各家々でも文化財はあると思いますし、高齢化していくことにより今後、どのように取扱われるか心配です。</p>
小塚生涯学習課長	<p>指定されたものもたくさんあります。毎年確認するにも件数が件数ですのでできないのが現状です。例えば5年間隔で、実際にあるかないか確認してまいりたいと思っています。最近多いのが、今後どうなるか分からないので、市への寄附の申し出や問合せがあります。指定されているものであれば市で受け取りますが、指定されていないものをどの程度受け取っていいのか、最近の悩みの種になっています。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に移らせていただきたいと思います。最後に、スポーツ振興課関係につきまして、スポーツ振興課長よりお願いいたします。</p>
野呂スポーツ振興課長	<p>スポーツ振興課の主な教育施策についてですが、前年同様に市が策定した第2次総合計画後期基本計画、教育委員会が策定したスポーツ推進計画に記載しました本市を取巻くスポーツの現状と課題を踏まえ、三つの基本目標の達成に向けて取組を推進してまいります。</p> <p>1. スポーツ環境の充実についてです。市民の多様なニーズに応じた教育環境の整備、適切な管理・運営、有効利用の活用を図り、市民の体力や目的に応じ、様々なスポーツを実施できるようスポーツ推進委員、スポーツ協会加盟体育協会、地域との連携を深め、施設の修繕・整備、社会構造の変化によるスポーツ施設の配置や統廃合の課題に取り組んでまいります。具体的な施策として昨年度実施に至らなかった落雪対策については、相手側と協議を深め、実施に向け取り組んでまいります。体育施設の経費節減と照度アップを兼ねたLED化照明については、鷹巣体育館、北健康増進センターの整備が終了し、電力使用量等が以前と比較し減っており、効果があったものと見られることから、今後も他の体育施設のLED化を進めたいと考えております。学校統合により閉校となる学校の体育館等については、地域のスポーツ施設の拠点として利活用について検討してまいります。学校の働き方改革を踏まえた部活動改革については、当面、学校部活動と休日において地域で行われる地域部活動との連携を図り、望ましい地域部活動の実現のため地域スポーツの人材育成、スポーツ環境の整備に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>2. 生涯スポーツの推進とスポーツを通じた地域活性化についてです。スポーツ活動に親しむ機会と場の提供、年代や世代に合った運動・スポーツに関する情報提供により、スポーツの実施に関する関心を高め、生涯スポーツとスポーツを通じた地域の活性化に取り組んでまいります。具体的な施策としてスポーツ推進委員、スポーツ協会、協会加盟体育団体と連携した市民スポーツの情報提供、各種大会、イベント等の実施や市民意識調査において、今後実施したいスポーツの上位を示したウォーキング散歩コースの設定、PR、市内スポーツ施設を活用した県内外からの交流人口を増やすためのスポーツ</p>

野呂スポーツ振興課長	<p>文化合宿等誘致事業の推進、スポーツをする、見る、支えることにより多くの市民が参加できるスポーツイベントの実施に向けた取組等により、スポーツを通じた生涯スポーツの推進、地域の活性化に取り組んでまいります。</p> <p>3. 競技スポーツの向上についてです。多様化するスポーツ活動を取巻く環境において、子供が積極的に運動、スポーツに親しみ、取り組むことができる機会の充実を図るため、スポーツ少年団指導員の育成及び底辺拡大、一流アスリートによるスポーツ教室等の開催に取り組んでいきたいと思っています。また、市内で開催の各種スポーツ大会への補助、全県大会以上の大会に出場する児童・生徒への出場費を補助し、負担軽減により競技力向上の一助となるよう支援してまいります。</p>
津谷市長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまのスポーツ振興課関係の説明につきまして、御意見、御質問をいただきたいと思ひます。</p>
佐藤英樹委員	<p>ただいま説明がありました市民参加型のスポーツイベントの企画・検討とありますが、今月 31 日に行われるチャレンジデーは、全国で初めての県内自治体対決で本市と鹿角市が対決するわけですが、是非とも勝ちたいと思っています。また、今年でチャレンジデーが最後だと広報されています。コロナの影響、ライフスタイルの変化により、中止することを担当している財団が発表しましたが、北秋田市としてこのような機会がなくなった時、今後、市民の健康、体力作りの手立てを考えているのかお伺いします。また、ウォーキングコースの設定とあり、以前に説明を聞いたことがあります、市のホームページを見ても、どのようなコースが出来て、どこのあるのかあまり知られていないと思ひます。</p>
野呂スポーツ振興課長	<p>市民参加型のスポーツイベントの企画についてですが、現在、具体的に検討しているものはございません。チャレンジデーは1日間ですが、マラソンなど継続的に行えるものについて、期間、距離を測定するアプリを使えないか検討したことがありますが、まだ具体的に進んでおりません。昨年、ウォーキングコースについては2コース作りしましたが、まだデータ化の作業が進んでおらず、ホームページにアップできていない状況です。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。</p>
佐藤正俊委員	<p>今年をもって100kmチャレンジマラソンが終わります。市民参加型のイベントでは、これが一番であったと思ひます。沿道にて爺さん、婆さん方が手押し車を押しながら応援している姿、また、老人クラブの会員の方が、走るコースを清掃している姿を見ることができなくなることに寂しく感じています。現在の参加人数はどの位ですか。</p>

野呂スポーツ振興課長	事務局より報告いただいていないので、把握しておりません。
佐藤正俊委員	分かったら後で教えてください。
野呂スポーツ振興課長	はい。
津谷市長	<p>それではスポーツ振興課関係を終わらせていただきます。令和5年度の主な教育施策について説明があり、また、委員の皆様から、大変貴重な御提言を頂きました。今日出されました御意見と御提言を考慮しながら、次年度に繋がる継続性を重視した施策を進めていきたいと思っております。</p> <p>続きまして、(2)意見交換のほうに入らせていただきます。特にテーマを絞られず、日頃感じていること等を含め、委員の方々からお話しいただければありがたいと思います。</p>
佐藤英樹委員	先ほど部活動の地域移行について話しましたが、私ども教育関係者が子供達の体力づくり、健康づくりをいかにするかを考え、その場を提供していくかが非常に重要だと思います。コロナ禍であり、また、市民参加型のスポーツイベントが無くなると、その機会が減っていくこととなります。関係者の皆さんで話し合い、地元の市スポーツ協会の協力を得ながら、子供達のために早めに行っていく必要があると思います。考え等あれば、ありがたく思います。
津谷市長	貴重な御意見でございます。スポーツ振興課のみならず、先ほどアプリを使って期間、距離を測定する等の話もありましたが、アプリを使えない方もおられるので、そのような方々をどのようにするか含めたフレイル予防など、そのようなことも考える必要があると思います。以前、県でウォーキングコースを全市町村ではないですが、モデルコースを作り、それを冊子にしたことがあります。例えば、現在の八峰町は八森の海岸沿いを歩いていくと、海岸だけではなく集落内に古いお宮があったり、そのような見たりするのは気づきがあったり、面白いので必要だろうと感じています。伊勢堂岱遺跡もありますし、そういう意味では色々な取組みができるのではないかと感じています。蒔苗委員、医学的見地から何かございませんか。
蒔苗委員	フレイル予防については、整形外科的、リハビリ的に何を何分やれば効果があるということではありますが、本当に弱ってきている人に対して、そういうことを要求しても出来ません。却って転倒したりする危険が増してしまうので、そのような人達については、まず生活動作をできるように立ち上がって、立ってられるか確認します。立ってられる人は、伝え歩きできるとかそのような基本的なことをやって、褒めてやるのがいいです。よくやったねと褒めれば、気持ちも前向きになります。構えて何かやりましょう

蒔苗委員	とやるのも必要なことではありますが、日常のことで褒めてあげながら活動能力を高めるような取組みが必要だと思います。
佐藤教育長	部活動の地域移行は、大きな課題だと思っていますが、逆にチャンスだとも思っています。今まで規模が小さく、やりたくても出来なかった活動が出来るようになるのではないかと、また、中学校卒業して高校で部活動をやっている子供達は、部活の先生と子供の繋がりはできているが、そこに地域との繋がりはありません。先ほどお配りした資料の中に総務省大臣官房広報室長 君塚さんの感想に「生徒さんにはふるさとを知った後、日本各地や世界を見て回って、また地元に戻るような生き方をしてもらいたいですね。僕もそうします。」ということを書いています。今回の地域移行が、地域の人に育てられたというとなると、子供達の地域に対する思いは違ってくると思います。ここを官民挙げてうまく作っていかねばと思っています。市長にもお願いしなければなりません、市役所の職員でオリンピック選手もいますので、そのような方々が兼職兼業といった形で関わってもらえればと思います。地域がみんなで中学生を育てていく、部活をやっていくというようなことになれば、子供達の地域に対する思いは違ってくるのではないかと。最終的にはそこをふるさと教育のゴールとしながら、部活動について考えていければと感じていますが、移動などクリアしなければ問題もありますので、みんなで協議していければと思います。
佐藤英樹委員	公務員の兼職兼業の件ですが、現在、そのことで申請して活動している職員は何名ですか。
小坂教育次長	大会役員として団体から要望があり、それに対して職務免除で対応している例はあります。
佐藤英樹委員	教育長がお話したように、これからは市長にも頑張ってもらって、日頃の指導者としてそのような形になれば、大変素晴らしい取組みだと思いますので、担当で検討していただければ大変ありがたいです。
津谷市長	兼業兼職についても色々ありますが、実際にスポーツ等の教育問題について協力できるのであれば、人のやりくりについて検討してまいりたいと考えています。
佐藤教育長	部活指導している際の給料について、国が補填するようなシステム作りをしてもらえないかとスポーツ庁地域スポーツ課長と議論したことがありました。どのようにすればうまくいくのか、そのようなことを御相談していければと思っています。
佐藤英樹委員	地域の希望、意見が欲しいという話をしていました。また、何が足りないのか、何が課題なのか見えないとの話もしていましたので、その辺をだしていただければありがたいと思います。

佐藤正俊委員	<p>やりやすい環境を作ってもら。市の方ではそのような環境を作らないと、指導に頑張りますという方はでてこないのではないかな。もちろん働き方改革もありますが、そのようなことをしっかり議論し、環境づくりをしてほしいと思います。</p>
津谷市長	<p>他にございませんか。 それでは意見交換はここまでとさせていただきます。本日の案件が全て終わりましたので、進行を事務局にお返しします。御協力ありがとうございました。</p>
小坂教育次長	<p>津谷市長、進行ありがとうございました。 続いて、その他でございますが何かございますか。</p>
佐藤正俊委員	<p>先日、阿仁学園の運動会に参加させていただきました。とても素晴らしかったです。私はあのような形で運動会ができるか、とても心配していました。大変な数の参加者で、阿仁地区婦人会の会員全員が集めたのも初めてではないかと思ひます。グラウンドいっぱいになっていました。それから、後期課程の子供達前期課程の1、2年生の子供達の手を引いて競技している姿、全員リレーについて前期、後期課程全員で行い、お互いに子供達が応援しているその姿は立派でした。また、比立内地区の人だけではなく、阿仁合地区の人達も来ていて、会話が沢山あり、みんなが真剣になって取組んでいて、統合してよかったと思えた瞬間でした。教育委員会には、ありがたいと感謝を申し上げたいと思ひます。</p>
小坂教育次長	<p>他にございませんか。 ないようですので、以上をもちまして令和5年度第1回北秋田市総合教育会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。</p>

(午後2時45分 閉会)